

各 位

平成 27 年 4 月 16 日
 東京都港区六本木四丁目 4 番 8 号
 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
 代表取締役会長兼社長 金山 精三郎
 (コード番号：2798 東証マザーズ)
 問合わせ先責任者 常務取締役執行役員 平尾 健治
 (TEL 03-5412-0065)

特別損失の計上及び平成 27 年 2 月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は平成 27 年 2 月期（平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日）におきまして、下記の通り特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

また、平成 26 年 10 月 8 日に公表いたしました平成 27 年 2 月期通期連結業績予想と本日公表の実績値において、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容および金額

当社運営の 2 店舗につきまして、減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 61 百万円を計上いたします。以上により特別損失 78 百万円を計上いたします。

2. 平成 27 年 2 月期連結業績予想との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,371	百万円 314	百万円 345	百万円 159	円 銭 60.03
今回発表実績 (B)	14,306	164	253	42	15.93
増減額 (B - A)	△65	△150	△91	△117	—
増減率	△0.5%	△47.8%	△26.4%	△73.5%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 2 月期)	13,638	305	427	245	92.36

(差異の理由)

売上高につきましては、ほぼ前回予想通りになりました。利益面については、「XEX」をはじめとする高級レストラン事業の一部既存店舗および海外店舗の不調の影響があったほか、新規店舗の出店および新規事業の立ち上げコストを計上したことにより前回予想を下回りました。また特別損失 78 百万円を計上したことに加えて、繰延税金資産の取崩しにより税負担が当初予想よりも重くなったこと等から、当期純利益も予想を下回りました。

以上